

問題番号	正	解	配点及び注意	計		
1	(1)	①	23	5	51	
		②	$-a + b$	5		
		③	$-\sqrt{3}$	5		
	(2)	①	ウ	3		
		②	あ 8	3		
	(3)	①	エ	3		
		②	い	4		3
			う	8		
	(4)	①	え	1		3
			お	4		
		②	か	2		
			き	3		
	(5)	①	く	3		3
		②	け	3		
			こ	4		
	(6)	①	さ	8		3
		②	し	—		
			す	8		
			せ	—		
			そ	2		
	(7)	①	た	1		3
②		※正解は右のとおり	3			

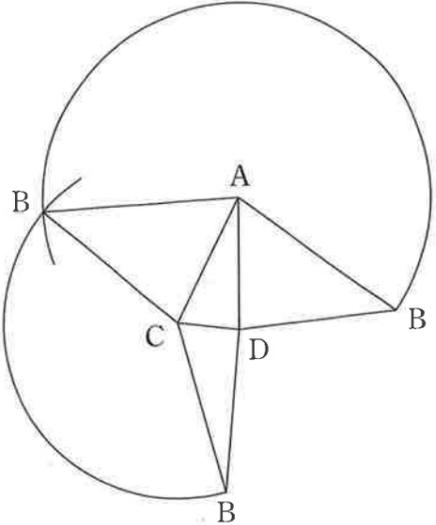
2	(1)	ち	8	5	15
		つ	1		
	(2)	て	1	5	
		と	2		

問題番号	正	解	配点及び注意	計
2	(3)	な	—	5
		に	6	
		ぬ	2	
		ね	8	

3	(1)	(a)	ア	5	(1) 完答で点を与える。
		(b)	エ		
		(c)	オ		
	(2)	※正解は右のとおり		6	
	(3)	の	3	5	
		は	6		
		ひ	1		
ふ		0			

4	(1)	へ	1	3
		ほ	2	
	(2)	ま	1	3
		み	—	
	(3)	む	2	3
		め	6	
		も	3	
	(4)	や	1	3
		ゆ	2	
		よ	6	
	(5)	ら	2	3
		り	9	
	(6)	る	8	3

合 計			100
-----	--	--	-----

問題番号	正	解	注 意
1	(7)	②	 <p>異なる作図の方法でも、正しければ、3点を与える。</p>

3	(2)	<p>△AOD と△AOF において、                      円の接線は、その接点を通る半径と垂直だから、  <math>\angle ADO = \angle AFO = 90^\circ \dots \textcircled{1}</math>                      円の半径だから、<math>OD = OF \dots \textcircled{2}</math>                      AO は共通だから、<math>AO = AO \dots \textcircled{3}</math>                      ①, ②, ③より、直角三角形の斜辺と他の1辺がそれぞれ等しいので、  <math>\triangle AOD \equiv \triangle AOF</math>                      合同な図形では、対応する辺の長さは等しいので、  <math>AD = AF</math></p>	異なる証明でも、正しければ、6点を与える。 また、部分点を与えるときは、3点とする。
---	-----	--	---